第３回　鳴門市地域公共交通活性化協議会　議事録

日時：令和 8 年 9 月 24 日（木）14:00～15:00

場所：本庁舎 3 階　庁議室

出　席　者　名　簿

【敬称略】

所属	氏名	区分	備考
鳴門市副市長	谷　　重幸	鳴門市	会長
鳴門市政策監	橘本　晋作	鳴門市	
徳島バス（株）企画管理部副部長	東　　孝行	公共交通事業者等	
徳島バス労働組合委員長	松本　忠宏	公共交通事業者等	欠席
（一社）徳島県バス協会専務理事	重本　錦二	公共交通事業者等	
徳島県タクシー協会 （鳴門第一タクシー（有）代表取締役）	長尾　春代	公共交通事業者等	代理出席
国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所徳島国道出張所長	東篠　眞吾	道路管理者・港湾管理者	
徳島県土整備事務所鳴門支所長	髙﨑　仁志	道路管理者・港湾管理者	監事
徳島県鳴門警察署交通課長	隅田　憲男	公安委員会	
鳴門市自治振興連合会監事	田村　　豊	公共交通利用者	
鳴門市幼小中ＰＴＡ連合会長	江本　　満	公共交通利用者	
鳴門市社会福祉協議会長	松本久和子	公共交通利用者	欠席
鳴門市老人クラブ連合会会長	藤村　松男	公共交通利用者	欠席
徳島大学大学院 社会産業理工学研究部長顧問	山中　英生	学識経験者	副会長
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局 首席運輸企画専門官	廣瀬　　渉	その他鳴門市が必要と認める者	
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局 首席運輸企画専門官	山下　勇紀	その他鳴門市が必要と認める者	
徳島県生活環境部交通政策課課長補佐	山田　知成	その他鳴門市が必要と認める者	監事
四国旅客鉄道株式会社徳島企画部長	荒井　　隆	その他鳴門市が必要と認める者	代理出席
国土交通省四国運輸局 交通政策部交通企画課課長	岡崎　北斗	要綱第 8 条第 5 項の規定に 基づく出席者	オブザーバー

委　員　会　概　要

１．開会

２．議事

（１） 鳴門市地域公共交通計画中間見直し案について

（２） 鳴門市公共交通維持改善調査業務に係る進捗状況について

３．その他

４．閉会

議　事　要　旨

14 時 00 分　開会

１．開会 会長挨拶 【出席者】出席者名簿参照	
２．議事 （１）鳴門市地域公共交通計画中間見直し案について ※事務局より説明（略）	
発言者	要　　旨
山中副会長	・　ダイヤ改正及び乗り継ぎなど運行調整による利便性向上に向けた取組みの現状について
事務局	・　JR 四国及び徳島バスとは随時協議を行っており、JR についてはパターンダイヤを導入いただいており、徳島バスにおいても、市民が利用しやすいダイヤ設定等に協力いただいている。駅前の環境整備等を含め、引き続き関係機関と連携して快適な乗り継ぎ環境の構築に取り組みたい。
田村委員	・　企業等送迎車両活用事業支援補助金」を活用した移動支援の利用実績について
事務局	・　矢倉地区では、令和５年９月に実証運行を開始し、令和６年度から本格運行に移行した。令和５年度は 631 名、令和６年度は 844 名、令和７年度は 720 名の利用があった。島田地区では、令和６年 10 月に実証運行を開始し、令和７年度から本格運行に移行した。令和６年度は 91 名、令和７年度は 172 名の利用があった。大麻町では、令和７年 12 月に実証運行を開始し、令和７年度は 44 名が利用、実証運行を継続している。
岡崎 オブザーバー	・　新たな運行形態の導入の検討にあたり、計画内に具体的な導入想定地区を例示として示すことにより、より実効性のある政策として位置付けられるため、検討をお願いしたい。
事務局	・　具体的な導入検討地区について、計画内へ記載する。
谷会長	【決議】承認
（２）鳴門市公共交通維持改善調査業務に係る進捗状況について ※調査業務委託事業者より説明（略）	
発言者	要　　旨
山中副会長	①　デマンド交通の導入エリアの選定において、需要面から大麻エリアを最優先としているが、供給面（タクシー事業者の余力等）を考慮した場合、他エリアの方が実施しやすいといった逆転現象は見られない

	か。また供給面に関して、基本的にはタクシー事業者等と連携して進めることを想定しているのか。 ② 大麻エリアの生活動線は南側（市外）に向いているとのことだが、実証運行にあたり、具体的にどのような目的地・着地点を考えているのか。
ネクスト・モビリティ株式会社	① まずは需要面からエリアを絞り込んだが、今後は事業者と詳細な協議を行う。タクシー事業者等と連携し、既存タクシー車両を単純に活用するだけでなく、事業者が車両を購入して借り上げる方法も含めて最適な運行体制・供給枠の検討を進める予定である。 ② まずは大麻エリアから近い北島町や藍住町の中規模スーパーへの乗り入れを検討している。長距離移動は車両の回送効率が落ちるため、まずは近隣の中規模店舗から実証を始め、需要に応じて拡張を検討する方針である。
岡崎 オブザーバー	① 来年度中にデマンド交通の実証運行を開始する想定で進めているのか確認したい。 ② 現在、大麻町で実施している移動支援実証事業と、今回の新たな運行形態との棲み分けについて
事務局	① 来年度の可能な限り早い段階で実証運行を開始できるよう進める。 ② 大麻町移動支援実証事業は、週１回の運行であるため、デマンド交通の導入については、曜日や運行形態のバランスを考慮し、うまく棲み分け・連携できるよう検討したい。
谷会長	【決議】承認
３．その他	
事務局	・地域公共交通計画中間見直しについて、本日いただいたご意見等を含め最終確認を行い、会長、副会長の確認を経て成案とする。成案は各委員へ送付するとともに、12 月議会の常任委員会にて報告予定である。
４．閉会	

15 時 00 分　閉会